



# 恩徳讃

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

## 目次

|  |    |
|--|----|
| 恩徳讃                                      | 1  |
| ご挨拶 (浄土真宗本願寺派総長 池田 行信)<br>(本願寺執行長 安永 雄玄) | 3  |
| 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)                       | 5  |
| 浄土真宗の教章(私の歩む道)                           | 6  |
| 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息                | 7  |
| 親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讃法要御満座の消息                  | 9  |
| 立教開宗 八百年 慶讃法要御満座の消息                      | 11 |
| 御正忌報恩講法要 全日程表                            | 13 |
| 御正忌報恩講法要 境内案内図                           | 15 |
| 法要日程(9日～16日)                             | 16 |
| お 齋                                      | 20 |
| 御法楽献詠入選歌                                 | 25 |
| 通夜布教(15日～16日)                            | 26 |
| 御正忌報恩講「法要期間中」の関連行事                       | 33 |
| 新制御本典作法 第一種                              | 55 |
| 慶讃法要記念愛唱歌「みんな花になれ」                       | 56 |
| 親鸞聖人のご生涯(御絵伝解説)                          | 65 |
| 大谷本廟(京阪バス時刻表)                            | 66 |
| 日野誕生院/角坊                                 | 67 |
| 帰敬式                                      | 68 |
| 「院号」をいただくには                              | 69 |
| 免物                                       | 70 |
| 本願寺よりのご案内<br>ほとけさまのお話/お西さんを知ろう!          | 71 |
| 領解文/私たちのちかい                              | 72 |
| 報恩講の歌/お西さん(西本願寺) SNS 紹介                  | 73 |
| 「ハワイ・マウイ島大規模火災災害義援金」募集について               | 74 |
| 御正忌報恩講法要期間中の仏華                           | 74 |

2024(令和6)年

# 御正忌 報恩講 法要

ごしようき  
ほうおんこう  
ほうよう

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、その

ご苦労を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いを

あらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第

三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講

私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要

は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しく

お念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただく

ことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めいたし

ております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人

のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜び

をこの身に受け、共々にお念仏申しませう。

# 御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

池田 行信

本願寺執行長

安永 雄玄

皆さまには、ようこそのご参拝まことにありがとうございます。

「報恩講法要」は、浄土真宗のみ教えを依りどころとする私たち念仏者にとって、最も大切なご法要です。ご法要をご縁に宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀如来のお慈悲のお心をあらためて深く味わわせていただき、ご恩に感謝させていただきましよう。

さて、今日、世界各地での対立や紛争、また、地震等の自然災害が絶えず、多くの方が被害に遭われています。さらには、社会の多様化により人々の苦悩が複雑化しています。

ご門主様は、先の親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要御満座のご消息で「このたびの慶讃法要を機縁として、あらためて『世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ』と願われた親鸞聖人のお言葉を深く心に刻み、これからお念仏を喜び、阿弥陀如来の智慧と慈悲をあらゆる人々に伝えることで、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、さらなる歩みが続けてまいりましよう」とお示しく下さいました。

本年は、浄土真宗の立教開宗八百年の年にあたります。宗祖がご生涯をかけて顕らかにされた他力念仏のみ教えが、歴代宗主をはじめ多くの先人の方のお導きによって、脈々と今の私たちに伝えられています。そのみ教えをいただく私たちは、お念仏申す人生を歩み、み教えに遇い得た喜びを、一人でも多くのご縁ある方々に伝えてまいりたく存じます。

このたびの、御正忌報恩講法要を通して、心あたたまるひとときを、ご本願寺においてお過ごしください。

合掌

# 新しい「領解文」

## （浄土真宗のみ教え）

南無阿弥陀仏  
 「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声  
 私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
 「そのまま救う」が 弥陀のよび声  
 ありがとう といたたいて  
 この愚身をまかす このままで  
 救い取られる 自然の浄土  
 仏恩報謝の お念仏

これもひとえに  
 宗祖親鸞聖人と  
 法灯を伝承された 歴代宗主の  
 尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり  
 少しずつ 執われの心を 離れます  
 生かされていることに 感謝して  
 むさぼり いかりに 流されず  
 穏やかな顔と 優しい言葉  
 喜びも 悲しみも 分かち合い  
 日々に 精一杯 つとめます

# 浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗  
 宗祖 親鸞聖人  
 （開山）

宗派 浄土真宗本願寺派  
 本山 龍谷山 本願寺（西本願寺）  
 本尊 阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）  
 聖典 釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

ご誕生 一七三二年五月二十一日  
 （承安三年四月二日）  
 ご往生 一二六二年一月十六日  
 （弘長二年十一月二十八日）

『仏説無量寿経』

『仏説阿彌陀経』

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』『教行信証』行巻末の偈文

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

### 教義

阿弥陀如来の本願力によって信心を  
 めぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この  
 世の縁が尽きるとき浄土に生まれて  
 仏となり、迷いの世に還って人々を教化  
 する。

### 生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀  
 如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、  
 つねにわが身をふりかえり、慚愧と  
 歡喜のうちに、現世祈禱などにたよる  
 ことなく、御恩報謝の生活を送る。

### 宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、  
 念仏を申す人々の集う同朋教団で  
 あり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を  
 伝える教団である。それによって、自他  
 ともに心豊かに生きることのできる  
 社会の実現に貢献する。

# 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という記念すべきご縁をお迎えいたします。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思っております。

伝道教団を標榜する私たちにとって、眞実信心を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わ

るよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」といふべきものが必要になってきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といた

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を  
僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会  
で 拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、ま  
た次の世代に確実に伝わることを切に願って  
お祈ります。

令和 五年 一月十六日  
二〇二三年

龍谷門主 釋 尊 如

# 親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讚法要御満座の消息 立教開宗八百周年

本年三月二十九日より五期三十日間にわたってお勤めしてまいりました親鸞聖人御誕生八百五十年慶讚法要は、本日をもってご満座をお迎えいたしました。立教開宗八百周年このたびの五十年に一度のご勝縁に国内外より多くの方々にご参拝いただき、厳肅かつ盛大にご法要をお勤めすることができましたのは、仏祖のお導きはもとより、僧侶・寺院・門信徒など有縁の方々のご懇念のたまものと心より感謝申し上げます。

私たちが浄土真宗のみ教えを確かな依りどころとして生きることができるのは、親鸞聖人が『顕浄土真実教行証文類』（教行信証）を著され、『仏説無量寿経』に説き示される阿弥陀如来の本願名号の真実の教えを明らかにされるとともに、聖人のみ跡を慕う多くの先人方が、み教えに生かされる喜びを今日まで大切に伝えてこられたからに他なりません。

私たちは阿弥陀如来の智慧の光明に包まれ、照らし出されることによつて、今まで気づかなかつた罪業深重・煩惱具足という自身の姿とともに、如来の広大な恩徳を知らされます。そして、このような私たちが、如来に慈しまれていると同時に私の悲しみを如

来の悲しみとして受け入れていただけることを信知することで、自身の悪業煩惱を心から慚愧し、少しでも執われの心を離れなければならぬと気づかされます。

それは自分だけの安穩を願うような自己中心的な生き方から、人々の苦悩をともしていく生き方への転換であり、そこから大智大悲という如来のお徳を真実と仰ぎ、それに沿うよう努める念仏者の生き方が開かれてきます。そして、その努め励んでいくままが如来のお徳に促され、ご本願に生かされて生きる姿になるのです。

このたびの慶讚法要を機縁として、あらためて「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と願われた親鸞聖人のお言葉を深く心に刻み、これからお念仏を喜び、阿弥陀如来の智慧と慈悲をあらゆる人々に伝えることで、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、さらなる歩みが続けてまいりましょう。

令和五年 五月二十一日  
二〇二三年

龍谷門主 釋 專 如

2024(令和6)年

# 御正忌報恩講法要 全日程表

9日 逮夜法要～16日 日中法要

## 《関連行事》

- ★A… 12日(金) 13:15～ 御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
- ★B… 14日(日) 12:30～ 第67回 全国児童生徒作品展表彰式 【阿弥陀堂】
- ★C… 15日(月) 11:50～ 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】

| 時間                       | 6:00                  | 8:10             | 10:00          | 11:10<br>～11:50   | 12:10<br>～12:50 | 14:00            | 15:30<br>※15日は18:00      | 16:00以降  |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|-------------------|-----------------|------------------|--------------------------|--|
| 法要行事                     | 晨朝                    | 常例布教             | 日中法要           | 特別講演              | 御絵伝<br>解説       | 逮夜法要             | 初夜                       |  |
| 場所                       | 阿弥陀堂<br>御影堂           | 総会所              | 御影堂            | 総会所               | 総会所             | 御影堂              | 御影堂                      |  |
| 9日(火)<br>開門5:30/閉門17:00  |                       |                  |                |                   |                 | 大師影供作法           | 改悔批判                     |  |
| 10日(水)<br>開門5:00/閉門17:00 | 阿弥陀経【阿】<br>日没礼讃【影】    | 本願寺派布教使<br>竹田 嘉円 | 二門偈作法          | —                 | 〈第一幅〉<br>工藤 恭修  | 奉讃大師作法           | 正信偈<br>改悔批判              | 15日<br>16:00～17:30<br>奉讃演奏会<br>2024<br>場所:<br>多目的ホール |
| 11日(木)<br>開門5:00/閉門17:00 | 阿弥陀経【阿】<br>初夜礼讃【影】    |                  | 新制御本典作法<br>第一種 | 本願寺派勤学<br>北塔 晃陞   | 〈第二幅〉<br>三ヶ本義唯  | 正信念佛偈作法<br>第三種   | 正信偈<br>改悔批判              |  |
| 12日(金)<br>開門5:00/閉門17:00 | 阿弥陀経【阿】<br>中夜礼讃【影】    |                  | 奉讃大師作法         | 佐藤第二病院院長<br>田畑 正久 | 〈第三幅〉<br>渡辺 有   | ★A<br>浄土法事讃作法    | 正信偈<br>改悔批判              |  |
| 13日(土)<br>開門5:00/閉門17:30 | 阿弥陀経【阿】<br>後夜礼讃【影】    | 本願寺派布教使<br>朝戸 臣統 | 二門偈作法          | 本願寺派布教使<br>葦原 理江  | 〈第四幅〉<br>渡辺 雅俊  | 宗祖讃仰作法<br>(音楽法要) | 正信偈<br>御伝記拝読             | 15日19:00<br>～16日5:40<br>通夜布教<br>場所:総会所<br>多目的ホール     |
| 14日(日)<br>開門5:00/閉門17:00 | 阿弥陀経【阿】<br>晨朝礼讃【影】    |                  | 新制御本典作法<br>第一種 | 中央仏教学院院長<br>福間 義朝 | ★B              | 大師影供作法<br>御俗姓拝読  | 正信偈<br>改悔批判              |  |
| 15日(月)<br>開門5:00/閉門19:30 | 阿弥陀経【阿】<br>日中礼讃【影】    |                  | 五会念佛作法         | 本願寺派布教使<br>八幡 真衣  | ★C              | —                | 広文類作法<br>引き続き<br>ご門主様ご親教 |  |
| 16日(火)<br>開門5:00/閉門17:00 | 漢音小経【阿】<br>正信偈(真譜)【影】 |                  | 報恩講作法          |                   |                 |                  |                          |  |

※【阿】…阿弥陀堂 【影】…御影堂

## お頭人

お頭人とは、御正忌報恩講法要中における初夜勤行（斎、非時の勤行）に正信偈を勤める調声人のことで、喚鐘が鳴ると、係の者（承仕）が外陣で「お頭人！お頭人！」と大きく呼ぶ声が御堂中に響き渡り、お勤めが始まります。



## ● 法要中継について ▶LIVE

法要の様子は随時インターネットにてライブ中継・配信いたしますので、寺院・各ご家庭等でもご参拝いただけます。



# 「御正忌報恩講法要」 境内案内図

(時間・内容等変更の場合もあります)



●10~15日  
お斎会場 (P.16)

●法要 晨朝 (6時)  
日中 (10時)  
速夜 (14時)  
初夜 (15時30分※15日は18時)

●12日 御法楽献詠入選者表彰式

●15日 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式

●15日 ご門主様ご親教(速夜法要に引き続き)

●帰敬式 (P.67)

●受付 お斎 (P.16)  
帰敬式 (P.67)  
免物 (P.69)  
永代経  
団体参拝

●御影堂荘厳具・  
供物等の展示 (P.18)

●宗門社会活動展  
●矯正展〈キャピック展〉  
●被災地支援物産展  
●プトラ・プトリショップ

●全国児童生徒作品展

●14日  
全国児童生徒  
作品展表彰式

●お西さんを知ろう! (P.70)

●「子どもたちの  
笑顔のために募金」ブース

●ほっとはあとショップ

1F 人権パネル展

1F 矯正展〈キャピック展〉

1F 15日 (17時~19時)  
ほっとはあとショップ

3F 15日 奉讃演奏会 (P.24)

3F 15日 (19時)~16日 (5時40分)  
通夜布教 (P.25)

1F 売店\*3

B1F 食事処\*4

1F 総会所

W.C.

●10~15日 (8時10分) 常例布教 (P.15)

●10~13日 (12時10分) 御絵伝解説

●11~15日 (11時10分) 特別講演

●12日 (12時30分 / 15時30分)  
本願寺史料研究所公開講座 (P.31)

●15日 (19時)~16日 (5時40分) 通夜布教 (P.25)

- = AED (自動体外式除細動器) 設置場所
  - = 車椅子対応エレベーター = 喫煙所 (北境内地に1ヵ所)
  - = オストメイト対応トイレ (多目的トイレ)
  - = 授乳室
  - = 喫茶・食事処
  - = スタンプ
  - = Wi-Fi電波受信建物  
SSID: Wi2\_free
- \*1 紫雲 — 10:00~15:00  
\*2・\*3 法輪 — 8:45~17:00  
\*4 がんこ 西本願寺別邸  
7:00~9:00  
11:00~14:00 (土・日・祝のみ14:30)  
17:00~20:30  
※ラストオーダーは、いずれも営業時間終了の  
30分前となります。

時刻表 (P.65)

# 御正忌報恩講法要(日程)

9日

火

13時30分頃 御堂布教

13時55分 御親開扉

14時00分 速夜法要 大師影供作法

15時30分 初夜〔改悔批判〕

御影堂

御影堂

御影堂

御影堂



経文については、別冊の『御正忌報恩講勸行集』をご参照ください。  
なお、「新制 御本典作法 第一種」は本誌に掲載していません。

## 御親開扉

このたびの御正忌報恩講法要をお迎えするにあたり、ご門主様により、御真影様ご安置の御厨子の扉が開けられます。

## 改悔批判

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。  
※13日は御伝記拝読のためおこないません。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。  
現在は、9日は初夜に、10、11、12、14、15日は初夜のお勤めに引き続き、改悔批判をおこなっております。

今年との与奪者は満井秀城勧学です。

開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

常例布教 総会所

8時10分 20分間 ※10〜15日

御堂布教

〔日中法要前〕 9時30分頃  
〔速夜法要前〕 13時30分頃

15分間 15分間

9日午後 12日午前

阿弥陀さまのお救いとは…



竹田嘉円師  
安芸教区 安芸南組 明円寺

12日午後 16日午前

南無阿弥陀仏  
あなたを救う仏に成る



朝戸臣統師  
岐阜教区 飛騨組 神通寺

※16日午後より通常通り P.70

要申込

# お齋



とき ● 1月10日(水)〜15日(月)

【1回目】12時頃〜 【2回目】13時頃〜  
※定員(各回)1200名  
※10日は12時30分頃のみに

ところ ● 書院(鴻之間) 全席椅子席

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『齋』といいます。本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要後にお齋の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっております。

本願寺でのお齋は、動物性の食材は一切用いず、一汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山 有田北組の皆様がご進納)とお酒を土産にお持ち帰りいただけます。

お申込みについては、参拝教化部までおたずねください。

・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

担当部 参拝教化部(龍虎殿1階) ※以下ページ担当部は で表記

# 10日

開門 5:00 閉門 17:00

## 帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

|                  |                         |   |   |
|------------------|-------------------------|---|---|
| 6時00分            | 晨朝〔小経(吳音)・往生礼讃偈(日没)〕    | 両 | 堂 |
| 8時10分            | 常例布教                    | 総 | 会 |
| 9時30分頃           | 御堂布教                    | 御 | 影 |
| 10時00分<br>(約45分) | 日中法要 二門偈作法              | 御 | 影 |
| 12時10分<br>(約40分) | 御絵伝解説〈第一幅〉<br>P.57～P.58 | 総 | 会 |
| 13時30分頃          | 御堂布教                    | 御 | 影 |
| 14時00分<br>(約50分) | 速夜法要 奉讃大師作法             | 御 | 影 |
| 15時30分<br>(約60分) | 初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕        | 御 | 影 |

### 御絵伝解説

―御絵伝に見る親鸞聖人のご生涯―

総会所にて御絵伝を映しながら、布教研究専従職員が四日間連続して場面ごとに解説いたします。

絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきます。

※併せて56～64ページもご参照ください。

と き ● 1月10日(水)～13日(土)

12時10分～12時50分

と ころ ● 間法会館1階 総会所

#### 解説者

〈第一幅〉10日(水) 工藤 恭修 (熊本県)

〈第二幅〉11日(木) 三ヶ本 義唯 (広島県)

〈第三幅〉12日(金) わたなべ 辺 有 (佐賀県)

〈第四幅〉13日(土) わたなべ 雅 俊 (北海道)

参拝教化部

# 11日

開門 5:00 閉門 17:00

## 帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

|                  |                         |   |   |
|------------------|-------------------------|---|---|
| 6時00分            | 晨朝〔小経(吳音)・往生礼讃偈(初夜)〕    | 両 | 堂 |
| 8時10分            | 常例布教                    | 総 | 会 |
| 9時30分頃           | 御堂布教                    | 御 | 影 |
| 10時00分<br>(約40分) | 日中法要 新制御本典作法第一種         | 御 | 影 |
| 11時10分           | 特別講演                    | 総 | 会 |
| 12時10分<br>(約40分) | 御絵伝解説〈第二幅〉<br>P.59～P.60 | 総 | 会 |
| 13時30分頃          | 御堂布教                    | 御 | 影 |
| 14時00分<br>(約45分) | 速夜法要 正信念佛偈作法 第三種        | 御 | 影 |
| 15時30分<br>(約60分) | 初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕        | 御 | 影 |

### 御影堂荘厳具・供物等の展示

御正忌報恩講法要期間中、阿弥陀堂・御影堂間渡廊下に大型ブースを設け、荘厳具・供物等を展示いたします。貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

と き ● 1月9日(火)～16日(火)

と ころ ● 両堂間渡廊下

式務部

11:10～11:50 特別講演

## 本願他力



本願寺派勸学  
北塔晃陞 師

12日 金

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

|                  |                       |   |
|------------------|-----------------------|---|
| 6時00分            | 晨朝〔小経(吳音)・往生礼讃偈(中夜)〕  | 両 |
| 8時10分            | 常例布教                  | 総 |
| 9時30分頃           | 御堂布教                  | 御 |
| 10時00分<br>(約50分) | 日中法要 奉讃大師作法           | 御 |
| 11時10分           | 特別講演                  | 総 |
| 12時10分<br>(約40分) | 御絵伝解説 (第三幅) P.61、P.62 | 総 |
| 13時15分           | 御法楽献詠入選者表彰式           | 御 |
| 13時30分頃          | 御堂布教                  | 御 |
| 14時00分<br>(約65分) | 速夜法要 浄土法事讃作法          | 御 |
| 15時30分<br>(約60分) | 初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕      | 御 |

11:10~11:50 特別講演

ビハラー活動に願うこと  
(仏教と医療の協働)



佐藤第二病院院長  
田畑正久 師

# 令和6年 御法楽献詠入選歌

「親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百五十年慶讃法要」にお遇いして  
兼題

## 誕生

講評 宗派月刊誌「大乘」歌壇選者 喜多 弘樹

生きるとはみ教えしかと抱くこと  
合掌しつつ本道歩む

京都府 観山哲州

《評》この世の中を生きたりということとは、親鸞聖人の  
み教えを抱きながら合掌し、本道を歩むこと。  
強く高き志志の一首です。

春の陽に芽吹くいのちの誕生を  
称へまつりて念仏こぼるる

熊本県 新道くみ子

《評》春の温かな光を浴びながら草木が芽吹く、ま  
さしく命の誕生。念仏を称える心がほのぼの  
とした感動そのものです。

日野の里親鸞様のご誕生  
その地を思いおみのりを聞く

宮崎県 岩崎すみか

《評》親鸞様のお生まれになった日野の里。なかなか  
行けないけれど、その地を思いながら、聴聞を  
する厳かな姿です。

それらしき私の殻を脱ぎすてて  
羽化するように南無阿弥陀仏

熊本県 星子正美

《評》羽化は、殻を脱ぎ捨てて大空にはばたこうとする  
命の誕生。六字名号を称える心躍りすら感じら  
れ、清新な詠みぶりです。

吾が星は四十六億歳といふここに  
生れ弥陀の誓願聴くも尊し

宮崎県 松林淳子

《評》地球が誕生して四十六億年という長い時間、こ  
の水惑星に生れ、尊い阿弥陀仏のご誓願を聴け  
た喜びをつつましく詠まれました。

御法楽献詠  
聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠  
は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門  
信徒の方がたから広く歌を募っており  
ます。  
本年の兼題は「誕生(たんじょう)」  
とし、全国より寄せられた106首の中から  
次ページの5首が入選いたしました。

# 13日

開門 5:00 閉門 17:30  
帰敬式 (御影堂)  
午前 晨朝後 午後 13:00

11:10~11:50  
特別講演

節談説教  
ただ、念仏するということ



本願寺派布教使  
葦原 理江 師

|                |                       |   |   |
|----------------|-----------------------|---|---|
| 6時00分          | 晨朝 (小経(吳音)・往生礼讃偈(後夜)) | 両 | 堂 |
| 8時10分          | 常例布教                  | 総 | 会 |
| 9時30分頃         | 御堂布教                  | 御 | 影 |
| 10時00分 (約35分)  | 日中法要 二門偈作法            | 御 | 影 |
| 11時10分         | 特別講演                  | 総 | 会 |
| 12時10分 (約40分)  | 御絵伝解説 (第四幅) P.63 P.64 | 総 | 会 |
| 13時30分頃        | 御堂布教                  | 御 | 影 |
| 14時00分 (約40分)  | 速夜法要 宗祖讚仰作法(音楽法要)     | 御 | 影 |
| 15時30分 (約130分) | 初夜 [正信偈 引き続き御伝記拝読]    | 御 | 影 |

# 14日

開門 5:00 閉門 17:00  
帰敬式 (御影堂)  
午前 晨朝後 午後 13:00

11:10~11:50  
特別講演

愚者となりて



中央仏教学院院長  
福間 義朝 師

|               |                       |   |   |
|---------------|-----------------------|---|---|
| 6時00分         | 晨朝 (小経(吳音)・往生礼讃偈(晨朝)) | 両 | 堂 |
| 8時10分         | 常例布教                  | 総 | 会 |
| 9時30分頃        | 御堂布教                  | 御 | 影 |
| 10時00分 (約40分) | 日中法要 新制御本典作法第一種       | 御 | 影 |
| 11時10分        | 特別講演                  | 総 | 会 |
| 12時30分        | 第67回全国児童生徒作品展表彰式      | 阿 | 弥 |
| 13時30分頃       | 御堂布教                  | 御 | 影 |
| 14時00分 (約65分) | 速夜法要 大師影供作法 御俗姓拝読     | 御 | 影 |
| 15時30分 (約60分) | 初夜 [正信偈 引き続き改悔批判]     | 御 | 影 |

## 『御伝記(御伝鈔)』と『御絵伝』

本願寺第三代寛如上人は、親鸞聖人の遺徳を讃仰するために、その生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。御正忌報恩講の折にこの「御絵伝」(八幅)を御影堂の左右両余間にお掛けし、一月十三日に『御伝鈔』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝鈔』と呼びます。

## 御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の眞実信心を勧められています。

# 15日

開門 5:00 閉門 19:30  
**帰敬式 (御影堂)**  
 午前 晨朝後 午後 13:00

11:10~11:50  
 特別講演

家族になる さよならのない



本願寺派布教使  
 八幡真衣師

|               |                         |   |   |
|---------------|-------------------------|---|---|
| 6時00分         | 晨朝 (小経・呉音・往生礼讃偈(日中))    | 両 | 堂 |
| 8時10分         | 常例布教                    | 総 | 会 |
| 9時30分頃        | 御堂布教                    | 御 | 影 |
| 10時00分 (約45分) | 日中法要 五会念佛作法             | 御 | 影 |
| 11時10分        | 特別講演                    | 総 | 会 |
| 11時50分        | 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式       | 御 | 影 |
| 13時30分頃       | 御堂布教 手話通訳               | 御 | 影 |
| 14時00分        | 速夜法要 広文類作法              | 御 | 影 |
| 引き続き          | ご門主様ご親教 手話通訳            | 御 | 影 |
| 16時00分 (約90分) | 奉讃演奏会 (17時30分終了予定) P.24 | 聞 | 法 |
| 18時00分 (約60分) | 初夜 [正信偈 引き続き改悔批判]       | 御 | 影 |
| 19時00分        | 通夜布教 (〜16日5時40分) P.25   | 聞 | 法 |

## 講社懇志進納講並びに「ご消息」ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、一年間に進納のあつた進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五(昭和四十)年に本願寺第二十三代勝如上人が発布された「講社への消息」が披露されます。



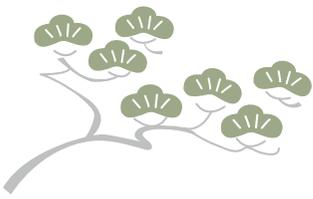
講社ホームページを随時更新中です。歴史や年間行事など幅広く紹介しております。  
<http://kousha.hongwanji.or.jp>



# 16日

開門 5:00 閉門 17:00  
**帰敬式 (御影堂)**  
 午後 13:30

|               |   |   |   |
|---------------|---|---|---|
| 10時00分 (約95分) | 日中法要 報恩講作法  | 御 | 影 |
| 13時30分        | 帰敬式   | 御 | 影 |
| 14時00分        | 常例布教(昼座) P.70                                       | 総 | 会 |
| 9時30分頃        | 御堂布教  | 御 | 影 |
| 6時00分         | 晨朝 (小経・漢音・正信偈(真譜))<br><small>※午前の帰敬式は行われません</small> | 両 | 堂 |
| 5時40分迄        | 通夜布教 P.25   | 聞 | 法 |
| (15日19時〜)     |   | 聞 | 法 |



## 御正忌報恩講 奉讃演奏会 2024

— 通夜布教前のひとときを —  
 仏教讃歌とともに —  
 合唱、ハンマーダルシマーとアイリッシュハーブによる仏教讃歌の調べをお楽しみください。

プログラム

- ・みんな花になれ (愛唱歌)
- ・相好ごとに百千の
- ・混声合唱組曲『二度とない人生だから』より 他

※曲目は都合により変更となる場合があります

〔出演〕  
 本願寺合唱団 (指揮: 鈴木捺香子 ピアノ: 井上なおみ)  
 Claddagh Ring (ハンマーダルシマー: 稲岡大介  
 アイリッシュハーブ: 川島憂子)



演奏会の詳細はこちら→

| 聞法会館                    | 伝道本部                 |                                   | 聞法会館          |                         |                                 | 白洲特設テントエリア        |               |               | お茶所               |                  | スタンプラリー             |                               |                                       |
|-------------------------|----------------------|-----------------------------------|---------------|-------------------------|---------------------------------|-------------------|---------------|---------------|-------------------|------------------|---------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
|                         | 展示                   | 販売                                | 販売            | 展示                      | 募金                              | 販売                | 販売            | 販売            |                   |                  |                     |                               |                                       |
| 11<br>第17回 本願寺史料研究所公開講座 | 10<br>第67回 全国児童生徒作品展 | 9<br>人権パネル展                       | 8<br>通夜布教書籍頒布 | 7<br>矯正展 (キャピック展) (2会場) | 6<br>プトラ・プトリシヨップ (少年連盟教材の展示と頒布) | 御正忌報恩講 法要期間中の関連行事 |               |               | 5<br>被災地支援物産展2024 | 4<br>宗門社会活動展     | 3<br>子どもたちの笑顔のために募金 | 2<br>ほつとはあとシヨップ (結ぶ絆から、広がる縁へ) | 1<br>「西本願寺ブランドツリーリング」 「真宗十派本山報恩講法要巡り」 |
|                         |                      | テーマ「狭山事件から60年」<br>— 無実の罪を晴らすために — |               | 13:00 ~ 16:00           | 9日 (火)                          | 12:00 ~ 16:00     | 12:00 ~ 16:00 | 13:30 ~ 15:30 | 9:30 ~ 15:30      | スタンプ設置場所：お茶所・龍虎殿 |                     |                               |                                       |
|                         |                      |                                   |               | 9:00 ~ 16:00            | 10日 (水)                         | 9:30 ~ 16:00      | 9:30 ~ 16:00  | 9:30 ~ 15:30  |                   |                  |                     |                               |                                       |
|                         |                      |                                   |               |                         | 11日 (木)                         |                   |               |               |                   |                  |                     |                               |                                       |
|                         |                      |                                   |               |                         | 12日 (金)                         |                   |               |               |                   |                  |                     |                               |                                       |
| 12:30 ~ 15:30           |                      |                                   |               | 10:30 ~ 15:00           | 13日 (土)                         |                   |               |               |                   |                  |                     |                               |                                       |
|                         | 12:30 表彰式 (阿弥陀堂)     |                                   |               |                         | 14日 (日)                         |                   |               |               |                   |                  |                     |                               |                                       |
|                         |                      |                                   | 14:30 ~ 22:00 |                         | 15日 (月)                         |                   |               |               |                   |                  |                     |                               |                                       |
|                         |                      |                                   |               | 9:00 ~ 12:00            | 16日 (火)                         | 9:30 ~ 12:00      | 9:30 ~ 12:00  | 9:30 ~ 11:30  |                   |                  |                     |                               |                                       |



総会所

# 通夜布教

通夜布教とは、親鸞聖人ご往生の前夜に門弟や縁の深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言われ、15日夜から16日早朝にかけ、13名の本願寺派布教使が夜通し法話をいたします。

とき ● 1月15日(月) 19時~1月16日(火) 5時40分  
 ところ ● 聞法会館(2会場)  
 (1階 総会所・3階 多目的ホール) 2会場同時進行!

| 1階 総会所                            | 時間            | 3階 多目的ホール 全席椅子席                   |
|-----------------------------------|---------------|-----------------------------------|
| 勤行 (正信偈六首引)                       | 19:00 ~ 19:30 | 勤行 (正信偈六首引)                       |
| 挨拶                                | 19:30 ~ 19:35 | 挨拶                                |
| 講師名                               |               | 講師名                               |
| あさと 臣統 岐阜教区 飛騨組 神通寺               | 19:50 ~ 20:30 | おやま 昭眞(昭眞) 東北教区 秋田組 正念寺           |
| ますみ 慎一 備後教区 世羅組 善行寺               | 20:30 ~ 21:10 | かとう 幸子(純幸) 東海教区 中勢組 専念寺           |
| わだ 新吾 大分教区 岡組 蓮光寺                 | 21:10 ~ 21:50 | あさと 臣統 岐阜教区 飛騨組 神通寺               |
| 休憩 (20分)                          | 21:50 ~ 22:10 | 休憩 (20分)                          |
| おやま 昭眞(昭眞) 東北教区 秋田組 正念寺           | 22:10 ~ 22:50 | ますみ 慎一 備後教区 世羅組 善行寺               |
| かとう 幸子(純幸) 東海教区 中勢組 専念寺           | 22:50 ~ 23:30 | わだ 新吾 大分教区 岡組 蓮光寺                 |
| みやべ まさふみ(誓雅) 大阪教区 島中南組 誓覚寺        | 23:30 ~ 0:10  | みやたけ たいご 安芸教区 広陵西組 西念寺            |
| こうの きょうしん 京都教区 下西組 圓光寺            | 0:10 ~ 0:50   | いわさき ぶんげん 宮崎教区 西諸県組 淨信寺           |
| 休憩 (20分)                          | 0:50 ~ 1:10   | 休憩 (20分)                          |
| みやたけ たいご 安芸教区 広陵西組 西念寺            | 1:10 ~ 1:50   | みやべ まさふみ(誓雅) 大阪教区 島中南組 誓覚寺        |
| いわさき ぶんげん 宮崎教区 西諸県組 淨信寺           | 1:50 ~ 2:30   | こうの きょうしん 京都教区 下西組 圓光寺            |
| うえもと しゅうじ(栄念) 北海道教区 十勝組 玄誓寺       | 2:30 ~ 3:10   | たかつかき しょうしん 石川教区 江南組 洗心寺          |
| 休憩 (20分)                          | 3:10 ~ 3:30   | 休憩 (20分)                          |
| みかもと ぎゆい 安芸教区 広島北組 徳行寺            | 3:30 ~ 4:10   | わかばやし ただと 若林 唯人(慧光) 大阪教区 中島東組 光照寺 |
| たかつかき しょうしん 石川教区 江南組 洗心寺          | 4:10 ~ 4:50   | うえもと しゅうじ(栄念) 北海道教区 十勝組 玄誓寺       |
| わかばやし ただと 若林 唯人(慧光) 大阪教区 中島東組 光照寺 | 4:50 ~ 5:30   | みかもと ぎゆい 三ヶ本 義唯 安芸教区 広島北組 徳行寺     |
| 恩徳讃                               | 5:30 ~ 5:40   | 恩徳讃                               |

●モニター中継およびインターネット中継を行います。 ※モニター中継会場 3階研修室

## 西本願寺 小豆粥 <レトルト> 500円(税込)

親鸞聖人がお好きであったとされる小豆の  
 入った「小豆粥」がレトルトになりました!  
 ちょうどいい塩加減と生姜の風味で  
 身体の芯から温まります♪



御正忌報恩講法要  
 参拝のお土産に  
 ビックリ!



販売中 ●西本願寺売店 (伝道本部1F「法輪」・聞法会館1F)  
 ・大谷本願ロビー売店

## 販売 2 ほっとはあとショップ 〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって作製した「ほっとはあと製品」を出展販売いたします。

お店では、おいしいパンやお菓子、そして生活雑貨等の販売をいたしますので、皆さまのお越しをお待ちいたしております。



**主催:** 特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター  
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所が合同で設立した団体です。

**後援:** 浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

**日時** 法要期間中 9時30分～15時30分  
※16日は出店なし

**場所** お茶所 (白洲総合案内所)  
※15日(月)のみ 17時～19時に  
聞法会館 1階ロビー (和室前) でパン販売

重点プロジェクト推進室

## 募金 3 子どもたちの笑顔のために募金

宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金をブース(お茶所内)までお持ちください。



**日時** 法要期間中  
9時30分～15時30分  
※9日は13時30分から、  
16日は11時30分まで

**場所** お茶所内



キャッシュレス募金  
専用ページは  
こちらから

重点プロジェクト推進室

### ほっとはあとショップ出展販売施設

- 9日・スマイル藤森エース(がまぐち・スマホポーチ)  
・デイジー(クラフトテープを使った籠やバック)
- 10日・プティパ  
(ガラス・水引・京くみひも雑貨、アクセサリー)  
・サリュ(ポーチ・バック、つまみ細工、七宝アクセサリー)
- 11日・伏見工房(香袋、手揚げかばん等縫製品)  
・みらい(あみぐるみ、布小物、アクセサリー)
- 12日・ネストラポキョウト  
(ポストカード、キーホルダー、缶バッジ)  
・飛鳥井ワークセンター(パン、焼き菓子)
- 13日・あやべ作業所(焼き菓子、醤油)  
・ききょうの社(焼き菓子、パウンドケーキ)
- 14日・あおい苑(焼き菓子)  
・アシストセンターえーる  
(自社農園で栽培した農産物の加工食品)
- 15日・大江作業所(焼き菓子、丹後和紙で作った張り子商品)  
・京都市だいが学園(パン、焼き菓子)

重点プロジェクト推進室

## 展示販売 6 プトラ・プトリシヨップ (少年連盟教材の展示と頒布)

少年連盟キャラクターの「プトラ」と「プトリ」をモチーフにしたノートや鉛筆、消しゴムなどの文具セット、すごろく(親鸞さま編・お釈迦さま編)、パンダナ、シオルダーバッグなどの教材を広く知ってもらい、子ども会活動に活用していただこうと教材の展示と頒布をしています。ぜひお立ち寄りください。



**日時** 1月13日(土)、14日(日)、15日(月)  
10時30分～15時まで

**場所** 白洲特設テント

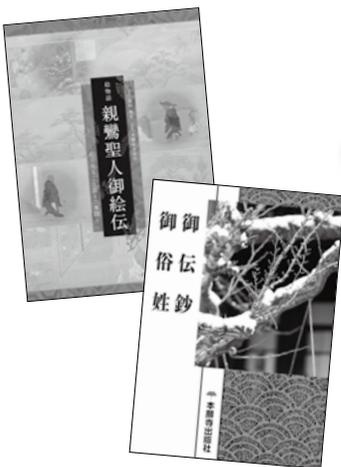
寺院活動支援部 (組織教化担当)

## 販売 8 通夜布教書籍頒布

本願寺出版社が発行している書籍・グッズの頒布をいたします。御正忌報恩講法要期間中、四千円以上お買い上げの方にはオリジナルエコバッグを進呈いたします(先着順)。是非お立ち寄りください。



オリジナル  
エコバッグ



**日時** 1月15日(月)  
14時30分～22時

**場所** 聞法会館 1階 特設ブース

本願寺出版社

本願寺ブックセンター  
(安穩殿1階)  
法要期間中 9時～17時  
※16日は8時から

## 展示 4 宗門社会活動展

社会部（社会事業担当）では、ビハラー活動をはじめ、矯正教化、更生保護事業など、様々な活動を推進しております。また、浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会（全養本派クラブ）では、「こども虐待防止」のシンボルマークである「オレンジリボン運動」の啓発に取り組んでおります。広く社会に向けた活動をパネルにてご紹介しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



**日時** 法要期間中 9時30分～16時  
※9日は12時から、16日は12時まで

**場所** 白洲特設テント

社会部（社会事業担当）

## 展示販売 7 矯正展（キャピック展）

宗門所属の教誨師・篤志面接委員（約三六〇名）が全国の刑務所や少年院等において教化伝道および、社会貢献の一環として宗教教誨や面接活動を実施しています。その被収容者の社会復帰に備え、施設職員の指導のもと、各施設内の工場等で刑務作業を実施しております。そこで制作される刑務所作業用品（家具・靴・伝統工芸品など心をこめた逸品）の展示販売会をおこなっておりますので、ぜひお立ち寄りください。



- ①大人気の「函館刑務所マル獄シリーズ」
- ②汚れ落としのスーパースター「フルスティック」
- ③組合せ自由自在「カラー整理箱」

主催：（公財）刑務作業協力事業部/  
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟

後援：京都刑務所

協賛：刑務作業協賛業者

**日時** 法要期間中 9時～16時  
※9日は13時から、16日は12時まで

**場所** 白洲特設テントおよび  
聞法会館1階 和室（2会場）

社会部（社会事業担当）

## 展示 9 人権パネル展

人権週間より御正忌報恩講法要までおよそ四十日間を縁として、宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

今回は、「狭山事件から60年」―無実の罪を晴らすために―をテーマとして、不当逮捕のうえ有罪を言い渡された石川一雄さんの再審開始に向けて、今、私たちにできることは何かということを考えていただく機縁となることを目的としています。

すべての人びとが自他ともに心豊かに生きることができるよう、共に学びを深めてまいりましょう。



**日時** 人権週間（12月5日（火）～1月16日（火））

**場所** 聞法会館1階 総会所横

社会部（人権問題担当）

## 展示 第67回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。応募作品の中から、「特選」（各部門各学年から1名）を選び、御正忌報恩講期間中に阿弥陀堂で表彰します。全国の子どもたちから応募された力作を、ぜひご覧ください。



**日時** 法要期間中 ※16日は12時まで  
[表彰式]  
1月14日（日）12時30分  
（阿弥陀堂）

**場所** 伝道本部東棟1階ロビー

寺院活動支援部（組織教化担当）

スタンプラリー

# 1 『西本願寺グランドツーリング』 (全国別院巡拝スタンプラリー) 『真宗十派本山報恩講法要巡り』

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り（スタンプラリー）を実施しています。お茶所・安穩殿・龍虎殿にてスタンプ帳を配布しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



真宗十派  
真宗教団連合  
(所務部  
〈文書担当〉)

グランドツーリング  
重点プロジェクト  
推進室

公開講座

# 11 第17回 本願寺史料研究所 公開講座

無料

宗教教誨一五〇年、覚信尼誕生八〇〇年を記念して、歴史講座を開催します。

- 【あいさつ】 十二時三十分～ 赤松徹眞 (本願寺史料研究所長)
- 【第一部】 十二時三十五分～ 約一時間 繁田真爾 (東北大学大学院国際文化研究科・GSI-CGSフェロー) 「監獄教誨と浄土真宗 ―その歴史と現在―」
- 【第二部】 十五時三十分～ 約一時間 岡村喜史 (本願寺史料研究所・上級研究員) 「覚信尼と大谷影堂の留守職」

ご予約はこちらから↓



日時 1月12日(金) 12時30分～15時30分  
場所 聞法会館3階 多目的ホール

所務部 〈文書担当〉

販売

# 5 被災地支援物産展2024

二〇二一年三月十一日発生した東日本大震災は、二〇二三年三月に十二年目を迎え、十三回忌法要が営まれました。復興への歩みが進みつつある中、震災被害の風化が危惧されています。東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、全国に散らばる避難者はお約二十万人以上といわれ、未だにさまざまな困難を抱えています。



また、近年は九州地方を中心とした大規模な水害が発生し、二〇二三年八月にはハワイ・マウイ島の規模火災によりラハイナ本願寺の各所が全焼するなど、多くの方が被害に遭われました。宗門の被災地復興支援の取り組みとして、被災各県およびハワイ開教区の物産展を開催いたします。

※マウイ島災害義援金については、P.7をご覧ください。

主な販売品

【宮城県】

お酒、おつまみ、水産加工品、コーヒー、お菓子



金のさんま



はまぐりもなかクッキー (抹茶&あんこ特別セット)



おつまみセット

【熊本県】

みそ、しょうゆ、フリーズドライ味噌汁



球磨川 (米麦あわせ味噌) 1kg



子持ちきくらげの佃煮 180g

【福島県】

なみえ焼きそば、クリームチーズのみそ漬



太っちょなみえ焼きそば



クリームチーズのみそ漬

【ハワイ開教区】

手作りバック、キッチンタオル、クリアファイル、チョコレート等



ステッカー



チョコレート



キッチンタオル

他にもたくさん  
ご用意しております。  
ぜひお立ち寄りください。

日時 法要期間中 9時30分～16時  
※9日は12時から、16日は12時まで  
場所 白洲特設テント 〈売り切れ次第終了〉

社会部 〈災害対策担当〉、寺院活動支援部 〈国際伝道担当〉

# 新制 御本典作法 第一種

「御本典」とは親鸞聖人の主著であり私たち浄土真宗の根本聖典でもある『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』のことを指します。真宗教団連合（真宗十派で組織）では元仁元年（一二二四年）四月十五日にこの『教行信証』の草稿本が完成したとし、この日を「立教開宗記念日」と定めています。

昭和四十八年の「親鸞聖人御誕生八〇〇年・立教開宗七五〇年慶讃法要」では『教行信証』からの御文で「御本典作法」が音楽法要として厳修されました。当時の仏教界では音楽法要は斬新的で新たな可能性を示しました。

令和五年三月より修行しました「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に際しおなじく『教行信証』に依り、新たに伝統的な節回しを一部復活させ五〇年前の「御本典作法」も法要の前後に取り入れて、五〇年前の想いをしっかりと受け止め、次の五〇年に向けて伝統と斬新さを発現できるよう「新制御本典作法」を制定いたしました。

特に「正信偈」の部分は、和讃譜を新たに採譜いたしました。これまでの節に加え、もう一つ節を加えることにより選択肢が増え、各寺院の法要での唱え分けができるものと考えます。この和讃譜正信偈も次の五〇年に向けて皆さんでご唱和できますことを願っております。

## 頌讚（教巻）

律曲  
出音

羽

平調

毎句取次第

商宮羽

如<sup>に</sup>よ  
|  
來<sup>らい</sup>  
|  
興<sup>こう</sup>  
|  
世<sup>せ</sup> 次第取  
|  
之<sup>し</sup>  
|  
火  
|  
正<sup>しょう</sup>  
|  
說<sup>せつ</sup>

奇<sup>き</sup>  
|  
特<sup>とく</sup>  
|  
最<sup>さい</sup>  
|  
勝<sup>しょう</sup> 次第取  
|  
之<sup>し</sup>  
|  
火  
|  
妙<sup>めう</sup> (ワル)  
|  
典<sup>でん</sup>

一<sup>いち</sup>  
|  
乘<sup>じょう</sup>  
|  
究<sup>く</sup>  
|  
竟<sup>きやう</sup> 次第取  
|  
之<sup>し</sup>  
|  
火  
|  
極<sup>ごく</sup>  
|  
說<sup>せつ</sup>

速そく | 疾しつ | 圓えん | 融にゆ  
羽ク | 羽ツ | 羽ン | 宮ク  
次第取

十じつ | 方ぼう | 稱しょう | 讚さん  
羽... | 羽ウ | 羽ウ | 宮ン  
次第取

時じ | 機き | 純じゆん | 熟じゆく  
宮... | 宮... | 宮ン | 羽ク

之し | 火か | 金こん | 言ごん  
宮... | 宮... | 宮ン | 宮ン

之し | 火か | 誠じよう | 言ごん  
宮... | 宮... | 宮ウ | 宮ン

之し | 真しん | 教けう  
羽... | 羽... | 羽...  
次第取

正信念佛偈 (行卷)

和讚譜 出音 宮 平調



歸き命みよう无む量りよう壽じゆ如に來らい  
宮... | 宮... | 宮... | 宮... | 宮... | 宮...

南な无も不ふ可か思し議ぎ光こう  
商... | 角... | 商... | 宮... | 宮... | 宮... | 羽...

法ほう藏ぞう菩ぼ薩さつ回いん位に時じ  
宮... | 宮... | 羽... | 宮... | 商... | 商... | 宮...

在ざい世せ自じ在ざい王おう佛ぶつ所しよ  
宮... | 宮... | 宮... | 羽... | 徵... | 徵... | 徵...

觀と見けん諸しよ佛ぶつ淨じよう土ど回いん  
宮... | 宮... | 羽... | 宮... | 商... | 商... | 宮...

國こく土ど人にん天てん之し善ぜん惡まく  
商... | 角... | 商... | 宮... | 宮... | 宮... | 羽...

建こん立りゆう无む上じよう殊しゆう勝しゆう願がん  
宮... | 宮... | 羽... | 宮... | 商... | 商... | 宮...

超ちよう發ほつ希け有う大だい弘ぐ擔ぜい  
宮... | 宮... | 宮... | 羽... | 徵... | 徵... | 徵...

五劫思惟之攝受  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

重擔名聲聞十方  
商一 角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

普放无量无边光  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

无碍无对光炎王  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

清淨歡喜智慧光  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

不斷難思无称光  
商一 角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

超日月光照塵刹  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

一切群生蒙光照  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

本願名號正定業  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

至心信樂願爲回  
商一 角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

成等覺證大涅槃  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

必至滅度願成就  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

如來所以興出世  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

唯說彌陀本願海  
商一 角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

五濁惡時群生海  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

應信如來如實言  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

能發のうほつ一いち念ねん喜き愛あい心しん

不斷ふだん煩ぼん惱のう得とく涅槃ねはん

凡聖ぼんじょう逆ぎやく謗ぼう齊さい迴え入にゆう

如衆によしゆ水しい入にゆう海かい一いち味み

攝取せつしゆ心しん光こう常じょう照しょう護ご

已能いのう雖すい破は无む明みょう闇あん

貪愛とんない瞋しん憎ぞう之し雲うん霧む

常覆じょうふ眞しん實じつ信しん心じん天てん

譬如ひによ日に光こう覆ふ雲うん霧む

雲霧うんむ之し下げ明みょう无む闇あん

獲信ぎやくしん見けん敬きやう大だい慶きやう喜き

即横そくおう超ちやう截ぜつ五ご惡あく趣しゆ

一切いっさい善ぜん惡まく凡ぼん夫ぶ人にん

聞信もんしん如に來らい弘ぐ擔ぜい願がん

佛言ぶつごん廣こう大だい勝しょう解げ者しや

是ぜ人にん名み分ぶん陀だ利り華け

彌陀佛本願念佛  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

邪見憍慢惡衆生  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

信樂受持甚以難  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

難中之難无過斯  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

印度西天之論家  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

中夏日域之高僧  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

顯大聖興世正意  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

明如來本誓應機  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

釋迦如來楞伽山  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

爲衆告命南天竺  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

龍樹大士出於世  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

悉能摧破有无見  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

宣說大乘无上法  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

證歡喜地生安樂  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

顯示難行陸路苦  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

信樂易行水道樂  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

憶念彌陀佛本願  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

唯能常稱如來號  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

天親菩薩造論說  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

依修多羅顯眞實  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

自然即時入必定  
商一 角一 商一 宮一 宮一 羽一

應報大悲弘誓恩  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一

歸命无碍光如來  
商一 角一 商一 宮一 宮一 羽一

光闡横超大擔願  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

廣由本願力迴向  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

爲度群生彰一心  
商一 角一 商一 宮一 宮一 羽一

歸入功德大寶海  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

必獲入大會衆數  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

得至蓮華藏世界  
宮一 羽一 宮一 商一 宮一

卽證眞如法性身  
商一 角一 商一 宮一 宮一 羽一

遊煩惱林現神通  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

入生死菌示應化  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

本師曇鸞梁天子  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

常向鸞處菩薩禮  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

三藏流支授淨教  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

焚燒仙經歸樂邦  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

天親菩薩論註解  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

報土回果顯誓願  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

往還迴向由他力  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

正定之回唯信心  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

惑染凡夫信心發  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

證知生死即涅槃  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

必至无量光明土  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

諸有衆生皆普化  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一

道綽決聖道難證  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

唯明淨土可通入  
商一角一 商一 宮一 宮一 宮一 羽一

萬善自力貶勤修  
宮一 羽一 宮一 商一 商一 宮一

圓滿德號勸專稱  
宮一 宮一 羽一 徵一 徵一 徵一



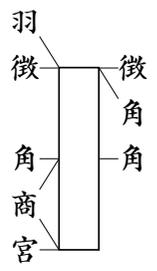
極ごく重じゆう惡あく人にん唯ゆい稱しゆう佛ぶつ  
 煩ぼん惱のう鄣しょう眼げん雖すい不ふ見けん  
 本ほん師し源げん空く明みよう佛ぶつ教けう  
 真しん宗しゆ教けう證しょう興こう片へん州しゅう教けう見けん佛ぶつ

我が亦やく在ざい彼ひ攝せつ取しゆ中ちゆう  
 大だい悲ひ无む倦けん常じゆう照せう我が  
 憐れん愍みん善ぜん惡まく凡ぼん夫ぶ人にん  
 選せん擇じやく本ほん願がん弘ぐ惡あく世せ  
 憐れん愍みん善ぜん惡まく凡ぼん夫ぶ人にん

還げん來らい生しゆう死じ輪りん轉でん家げ  
 速そく入にう寂じやく靜じゆう无む為い樂らく  
 弘ぐ經ぎよう大だい士じ宗しゆ師し等とう  
 道どう俗ぞく時じ衆しゆう共ぐ同どう心しん  
 速そく入にう寂じやく靜じゆう无む為い樂らく

決けつ以ち疑ぎ情じゆう為い所しよ止し  
 必ひつ以ち信しん心じん為い能のう入にう  
 拯じゆう濟さい无む邊へん極ごく濁じやく惡あく  
 唯ゆい可か信しん斯し高こう僧そう說せつ  
 決けつ以ち疑ぎ情じゆう為い所しよ止し

大信讚 (信卷) 出音曲 宮 壹越調 定曲



大信心者「則是」

長生不死之神方  
選擇迴向之直心

忻淨厭穢之妙術  
利他深廣之信樂

金剛不壞之真心

易往无人之淨信

心光攝護之一心

希有最勝之大信

世間難信之捷徑

證大涅槃之眞回

極速圓融之白道

眞如一如實之信海

念

佛

呂曲  
出音 宮

平調 俱曲



南<sup>序曲</sup> 无<sup>宮</sup> 阿<sup>商</sup> 彌<sup>宮</sup> 陀<sup>羽</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>宮</sup> 无<sup>宮</sup> 阿<sup>商</sup> 彌<sup>宮</sup> 陀<sup>羽</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>宮</sup> 无<sup>宮</sup> 阿<sup>商</sup> 彌<sup>宮</sup> 陀<sup>羽</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>定曲</sup> 无<sup>宮</sup> 阿<sup>商</sup> 彌<sup>宮</sup> 陀<sup>羽</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>同</sup> 无<sup>商</sup> 阿<sup>角</sup> 彌<sup>商</sup> 陀<sup>宮</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>角</sup> 无<sup>商</sup> 阿<sup>角</sup> 彌<sup>商</sup> 陀<sup>宮</sup> 佛<sup>宮</sup>

南<sup>角</sup> 无<sup>商</sup> 阿<sup>角</sup> 彌<sup>商</sup> 陀<sup>宮</sup> 佛<sup>宮</sup>

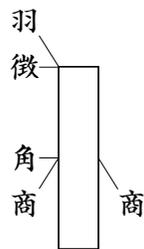
南<sup>角</sup> 无<sup>商</sup> 阿<sup>角</sup> 彌<sup>商</sup> 陀<sup>宮</sup> 佛<sup>宮</sup>

回向句 (證卷)

中曲  
出音

徵

壹越調



仰<sup>ウ</sup> 可<sup>ウ</sup> 奉<sup>羽</sup> 持<sup>ニ</sup> 特<sup>ク</sup> 可<sup>ウ</sup> 頂<sup>ウ</sup> 戴<sup>イ</sup> 矣<sup>商</sup>

還<sup>ン</sup> 相<sup>ウ</sup> 利<sup>ウ</sup> 益<sup>ニ</sup> 顯<sup>ン</sup> 利<sup>ウ</sup> 他<sup>ウ</sup> 正<sup>ウ</sup> 意<sup>ニ</sup>

證<sup>ウ</sup> 大<sup>イ</sup> 涅<sup>羽</sup> 槃<sup>ン</sup> 籍<sup>ニ</sup> 願<sup>ン</sup> 力<sup>ウ</sup> 迴<sup>ウ</sup> 向<sup>ウ</sup>

作詞 山口 夕オ  
作曲 加藤登紀子

# みんな花になれ

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年  
慶讃法要記念 愛唱歌  
[原調:へ長調]

1.あなたが - わらうと - はなになる -  
2.あなたが - ないたら - あめになる -

みている - わたしも - はなになる -  
みている - わたしも - あめになる -

いいこと - あるよ - わら - つたら -  
いいんだ - いいんだ - ないた - つて -

だれでも - は - なに - なれるんだ -  
あ - めが - ふるから - はな がさく -

そらを見あげるはなのように えがおい - つばいさか そうよ  
かぜによりそうはなのように やさしいえがおがさくんだよ

そらを見あげるはなのように えがおい - つばいさか そう  
かぜによりそうはなのように やさしいえがおが

よ さくんだよ

やさしいえがお さか そう よ

あなたが泣いたら 雨になる  
見ている私も 雨になる  
いいんだいいんだ 泣いたって  
雨がふるから 花が咲く  
風によりそう花のように  
やさしい笑顔が咲くんだよ  
風によりそう花のように  
やさしい笑顔が咲くんだよ  
やさしい笑顔が咲くんだよ  
やさしい笑顔が咲くんだよ

笑顔をいっばい咲かそうよ  
空を見上げる花のように  
笑顔いっばい咲かそうよ  
空を見上げる花のように  
笑顔いっばい咲かそうよ  
誰でも花になれるんだ  
空を見上げる花のように  
いいことあるよ 笑つたら  
みている私も 花になる  
あなたが笑つと 花になる

浄土真宗本願寺派  
公式YouTubeチャンネル



2021年4月15日  
本願寺御影堂にて  
歌唱:加藤登紀子さん

JASRAC 出 2309820-301

# 親鸞聖人のご生涯 (御絵伝解説)

親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』(絵巻物)を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝記』と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になってからは、一般のお寺でも、報恩講(聖人のご命日法要)の際には、『御絵伝』を奉懸し、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』(57〜64ページ)は、平成二十三年(二〇二一年)にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



## 【出家学道】

(下段・上段左)

承安三年(一一七三年)、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年(一一八一年)、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚(慈鎮和尚)の坊舎(白川房)で、僧侶となる儀式(お得度)を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断りましたが、聖人は「明日ありと 思う心のあだ桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する(髪を剃る)様子が描かれています。

## 【吉水入室】

(上段右)

建仁元年(一一〇一年)、二十九歳となられた聖人は、頂法寺(六角堂)の参籠を経て、源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。

## 【六角夢想】

(下段・上段右)

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺(六角堂)に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

この夢を見られた聖人は源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

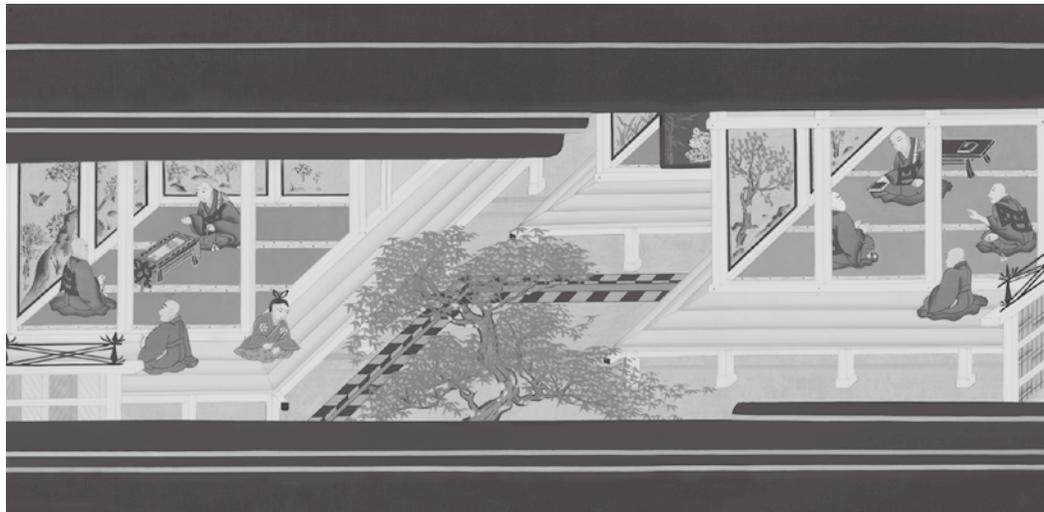
聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に対して礼拝しているお姿、東(右)を見ているお姿で描かれています。

## 【蓮位夢想】

(上段左)

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話かうつり、建長八年(一二五六年)、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことよって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



**【選択付属】**

親鸞聖人が、源空聖人(法然聖人)から、『選択本願念仏集』と源空聖人の絵像を授かっている場面です。聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳(元久二年「一二〇五年」)、恩恕(お許し)を蒙りて(受けて)『選択』(選択集)を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日に、

「選択本願念仏集」の内題の字(書物の題名)、ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と「釈 綽空」の字と、空(源空聖人)法然聖人の真筆(直筆)をもつて、これを書かしたまひき(書いてくださった)。同じき日、空(源空聖人)の真影(絵像)申し預かりて、図画したてまつる。

と思ひ起こされています。

**【信行兩座】** (下段)

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をばげむことで決まるか」お弟子たちに確認したと、源空聖人(法然聖人)に相談しました(下段右)。「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房(熊谷直実)、最後に源空聖人が座りました(下段左)。

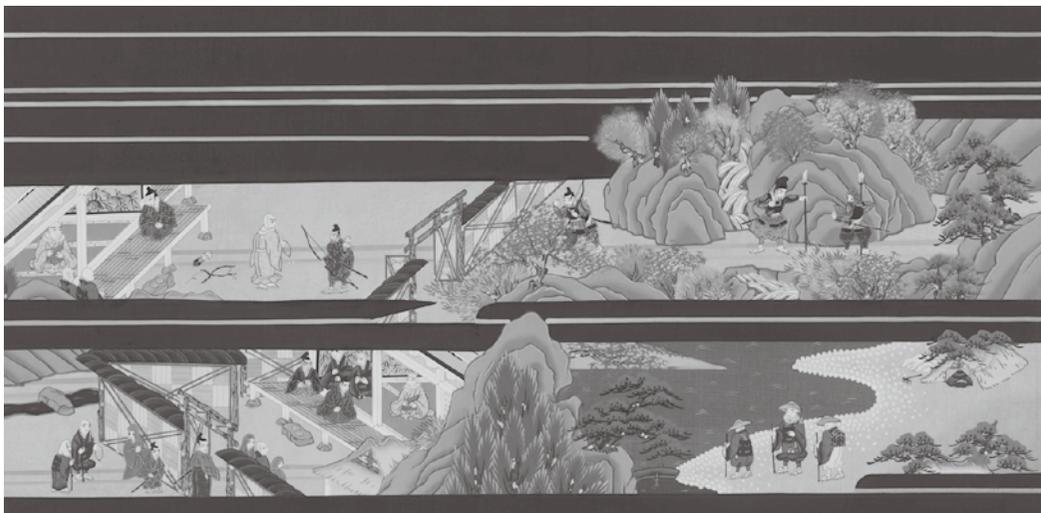
**【信心諍論】** (上段右)

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜るもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

**【入西鑑察】** (上段左)

場面は変わって、親鸞聖人七十歳の頃に話がつり、お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを察して、「定禅という絵師に描いてもらうといい」と言われたことが描かれています(右)。定禅は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました(左)。

# 親鸞聖人のご生涯 ③



## 念仏禁止 (下段右)

お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの奈良や比叡山の仏教との摩擦が起こるようになり、それらから朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門の前に奏上に訪れている様子が描かれています。

## 公卿僉議 (下段左)

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年(二二〇七年)念仏停止が決定し、住蓮・安楽など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人(法然聖人)は土佐国(実際には讃岐国)、親鸞聖人は越後国国府へ、還俗(僧侶の身分の剥奪)の上、流罪となりました。

## 師資遷謫 (上段)

承元元年旧暦三月、源空聖人が旅立たれるところ(上段左)と、親鸞聖人が旅立たれるところ(上段右)です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。

## 稲田興法 (下段)

建暦元年(二二二一年)、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人(法然聖人)は赦免の翌年、京都で往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ(下段右)、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が訪れるようになります(下段左)。

## 弁円濟度 (上段)

聖人の草庵に多くの人が訪れる様子を快く思わない山伏たちがあらわれ(上段右)、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いをみて、弓矢を折り、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました(上段左)。



**箱根霊告** (下段左)

親鸞聖人が関東に住まわれてからおおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現(神)が今夢に出てきて、尊敬している方が通るので、ほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

**熊野霊告** (下段右・上段)

茨城県水戸市飯富(旧大部)に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。

平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます(上段左)。聖人は、「阿弥陀如来の本願を信じる者は、主が阿弥陀仏であるから、神様を軽んじることはありません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に(下段右)、正装した熊野権現(神)と聖人が夢に出てきます(上段右)。

**洛陽遷化** (下段・上段左)

親鸞聖人は、弘長二年(一二二二年)十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかつたそうです(下段右)。そして十一月二十八日、今の暦では一二二三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にして右脇を下に、西を向いて往生されました(下段中央)。御年九十歳でした。

お弟子たちが茶毘の灸を囲んで(上段左)、聖人を偲び、悲しみの涙にくれる様子が描かれています。

**廟堂創立** (上段右)

聖人がご往生されて十年後の文永九年(一二七二年)、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像がご安置されました。このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまたと伝わっています。

# 日野誕生院

ひのたんじょういん

## 【親鸞聖人ご誕生の地】

京阪・地下鉄・JR「六地藏」駅または  
地下鉄「石田」駅から京阪バスで「日野誕生院」降車



京都の東南にあり  
ます日野誕生院は、  
親鸞聖人のご誕生の  
地であり、本願寺第  
20代宗主広如上人  
時代に「誕生の地を  
顕彰して、お堂が建  
立されたこと」に始ま  
ります。

及ぶ聖人の絵像、本願寺第23代宗主勝如  
上人御影像、そして、聖人  
の父である日野有範卿の木  
像が安置されており、ま  
た、境内には、聖人ご誕生の  
際「産湯の井戸」などがあり  
ます。



産湯の井戸

### 住所・電話番号

〒601-1417  
京都市伏見区日野西大道町19  
電話番号 (075) 575-2258  
FAX番号 (075) 575-2241

よる堂内には、ご本尊  
平安時代の様式に

# 角坊

すみのぼう

## 【親鸞聖人ご往生の地】

地下鉄「太秦天神川」駅または嵐電「山ノ内」駅より徒歩10分



京都山ノ内にありま  
す角坊は、親鸞聖人  
が晩年のお住まいとさ  
れた善法坊跡であり、  
本願寺第20代宗主広如  
上人時代に「聖人ご  
往生の地」と定めら  
れ、坊舎が建立された  
ことに始まります。

ご本尊が安置されて  
六間四面のひのき造りで、正面欄間には聖人  
ご往生の様子が彫刻・装飾  
されており、また、正面  
の「還浄殿」の額は広如  
上人のご染筆です。  
親鸞聖人七百五十回大  
遠忌事業の一環として大  
規模な境内整備が行われ、  
現在に至っており、六月  
には「広如忌」の法要を  
お勤めいたしております。

### 住所・電話番号

〒615-0091  
京都市右京区山ノ内御堂殿町25番地  
電話番号 (075) 841-8735  
FAX番号 (075) 841-8736

# 大谷本廟

おおたにほんびょう

## 【親鸞聖人のご廟所】

京阪「清水五条」駅より徒歩約15分  
市バス(206・207)・京阪バス(311・312)で「五条坂」降車



される場所として、毎日大勢の方々がご参  
拝され、香煙がたえませぬ。

大谷本廟の総門(山門)をくぐると、正  
面に仏殿があります。その奥に、祖壇とそ  
の拝堂である明著堂があります。また、廟  
所の山側には広大な大谷墓地が広がり、聖  
人が火葬された御茶毘所があります。  
大谷本廟は、今も昔も有縁の方々、納  
骨・永代経・墓参などをご縁としておみ  
りを聴聞される場所です。その由緒を大切  
にされる多くの皆さまのご参拝を心よりお  
待ちいたしております。

京都東山五条の大  
谷本廟は、親鸞聖人  
をはじめ歴代宗主の  
ご廟所(墓所)で  
す。聖人のご廟であ  
る祖壇のお側に納骨  
させていたきたい  
という思いから、全  
国の門信徒が納骨を

## 京阪バス時刻表 311 312

本願寺・大谷本廟 循環バスは2021年3月末をもって運行終了しました。

西本願寺→大谷本廟 大人230円(小児120円)

| 時  | 平日    | 土曜・休日 | 時  | 平日    | 土曜・休日 |
|----|-------|-------|----|-------|-------|
| 7  | 39    | 39    | 14 | 14 44 | 14 44 |
| 8  | 09 34 | 14 44 | 15 | 14 44 | 14 44 |
| 9  | 14 44 | 14 44 | 16 | 14 44 | 14 44 |
| 10 | 14 44 | 14 44 | 17 | 19 44 | 19 44 |
| 11 | 14 44 | 14 44 | 18 | 19 49 | 19 44 |
| 12 | 14 44 | 14 44 | 19 | 24 49 | 19 44 |
| 13 | 14 44 | 14 44 | 20 | 24 49 | 19 44 |

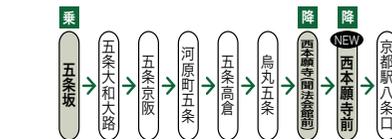
※上表は「西本願寺前」の時刻です。「西本願寺(開法館前)」は各2分後になります。



行先: 大宅行、京阪六地藏行、醍醐バスターミナル行、五条坂行

大谷本廟→西本願寺(京都駅八条口) 大人230円(小児120円)

| 時  | 平日       | 土曜・休日 | 時  | 平日    | 土曜・休日           |
|----|----------|-------|----|-------|-----------------|
| 7  | 04 27 51 | 04 42 | 14 | 12 42 | 12 42           |
| 8  | 41       | 04 41 | 15 | 12 42 | 12 42           |
| 9  | 13 41    | 04 41 | 16 | 12 42 | 12 47           |
| 10 | 12 42    | 12 42 | 17 | 07 42 | 14(12) 48(47) * |
| 11 | 12 42    | 12 42 | 18 | 13 47 | 11(10) 48(47) * |
| 12 | 12 42    | 12 42 | 19 | 11 46 | 11 47           |
| 13 | 12 42    | 12 42 | 20 | 11    | 11              |



行先: 京都駅八条口行

※土曜と休日で発車時刻が変わります。

### 通年

|       | 総門    | 無量寿堂  |
|-------|-------|-------|
| 開門(堂) | 5:30  | 8:00  |
| 閉門(堂) | 17:00 | 16:30 |

### 納骨・読経受付時間

毎日 9:00~15:00

### 住所・電話番号

〒605-0846  
京都市東山区五条橋東6丁目514  
電話番号 (075) 531-4171(代)  
FAX番号 (075) 531-2072

<https://otani-homyo.hongwanji.or.jp>



# 【御正忌報恩講法要期間中の帰敬式のご案内】

当日のお申し込みでも法名をいただくことができます

## 一、時 間

一月九日(火)～十五日(月)

午前の部 午前六時から（朝のおつとめ）に引き続き  
午後の部 午後一時

一月十六日(火)

午後の部 午後一時三十分（午前の部は行われません）

## 二、受 付（式は御影堂にて行われます）

午前の部 前日または当日の開門後、龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

※農朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。

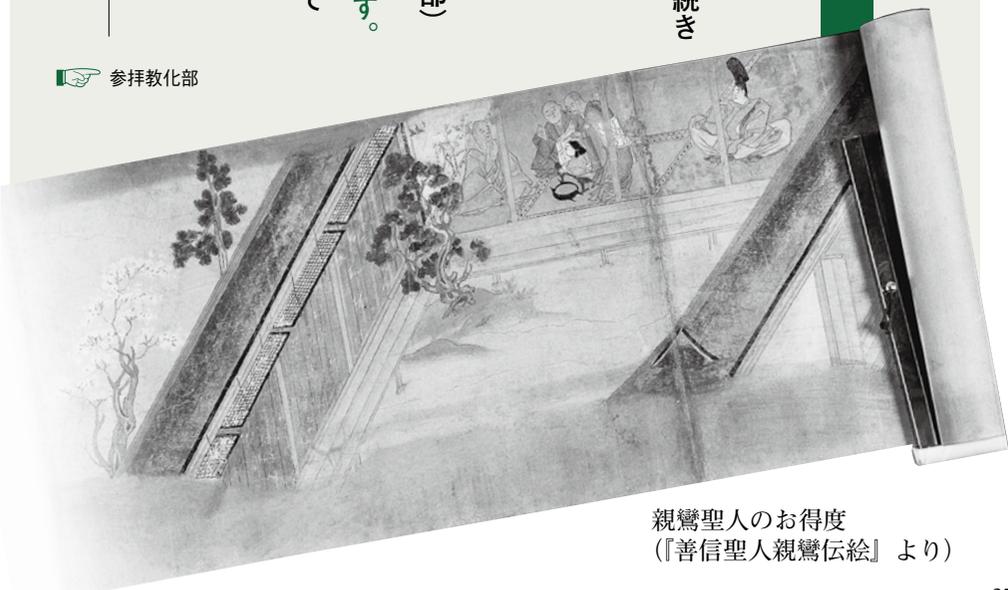
午後の部 受式一時間前までに龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

## 三、冥加金

成人 一万円（未成年 五千元）

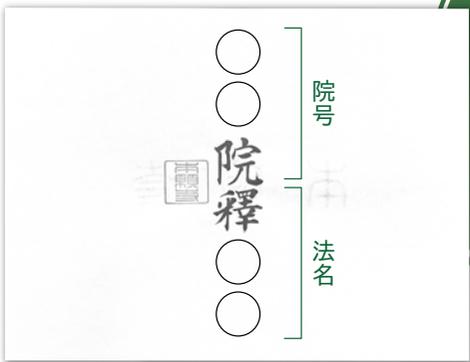
※一月八日(月・祝)については、終日行われません。  
※本人以外の受式は認められません。

参拝教化部



親鸞聖人のお得度  
〔善信聖人親鸞伝絵〕より

# 「院号」を いただくには



## 院号って何？



宗門へ多大な貢献をされた方や、20万円以上の多額の永代経懇志を納めていただいた方へ本願寺から授与されるお扱い(記念)が院号です。

おくれる院号は「〇〇院」の漢字3文字で浄書(墨書き)したものに正式な本願寺印が押印されています。院号はご自身の希望の文字を入れて、内願することが出来ます。帰敬式を受式されている方には、院号のあとに法名「釋〇〇」が併記されます。

※院号・法名は生前にいただくことができます。

院号を希望の文字にするなら生前にいただくのがオススメだね!



懇志20万円で本願寺に認められた院号がいただけるんだね!



## 「院号」がいただける基準

- 寺院の門徒総代を通常20年(5期)以上経歴された方や、寺院の責任役員を通常12年(3期)以上経歴されるなどその功績が認められた方
- 宗門および本山に多額の永代経懇志を進納された方(懇志20万円以上の永代経扱い(記念)として交付)

## 永代読経修行之証

永代経申し込み後、初めて法要にお参りいただいた際に、「永代読経修行之証」という証書をお渡しします。この証書をお持ちいただいた方には、これ以降本山本願寺(国宝)阿弥陀堂にて、原則1日2回修行される総永代経法要に無料でいつでもお参りいただき焼香することができます。



参拝教化部

※大谷本願でもお申し込みいただけます。  
※お世話になっているお寺のある方は、そちらにご相談ください。

# ほとけさまのお話

お西さんの法話 毎日(11:00) / 御影堂 15分1席 ※配信なし

YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」



晨朝〈朝のお勤め〉 毎朝(6:00) / 阿弥陀堂・御影堂 ▶LIVE

お西さんの土曜法話 土曜日(17:00) / 総会所 40分1席 ▶LIVE

YouTubeチャンネル「お西さんの常例布教」



昼座 毎日(14:00) / 総会所 30分2席 ▶LIVE

※参加無料。また、各法座は状況により中止又は時間・会場等変更する場合がございます。

## ▶ YouTubeによるお聴聞ができます！

毎日の常例布教・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeにて▶LIVE配信しています。また、過去の法話(アーカイブ\*)も公開中です。上記チャンネルから、いつでもどこでもお聴聞していただけます。

※(アーカイブ配信)は原則として後日6ヵ月間公開予定(諸事情により公開されない場合もございます)。



## 「お西のお坊さん」による境内案内 お西さんを知ろう!



1日4回 所要時間…約30分

集合場所: お茶所(総合案内所)

1回目 10:00~ 2回目 11:30~  
3回目 13:45~ 4回目 15:30~

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が、両堂や境内各所を法話を交え、ご案内いたします。どなたでも何度でもご参加いただけます。参加希望の方は、上記開催時間までにお茶所(総合案内所)にお越しください。

※本法要期間中も開催いたします。

何もらえるかは  
お楽しみ♪ | デザインが新しく  
なりました! |

ご参加いただいた方には…

オニシ  
**024Card** 全24種

1枚をプレゼント!

本願寺の見どころを  
紹介する  
オリジナルカードです。



# すべてのご家庭に阿弥陀様を

龍虎殿(参拝教化部)受付にてお迎えいただくことができます

〈左側〉蓮如上人(蓮師)



〈中央〉御本尊(阿弥陀如来)



〈右側〉親鸞聖人(宗祖・祖師)



※上記写真の他に六字尊号(南無阿弥陀仏)、九字尊号(南無不可思議光如来)、十字尊号(帰命尽十方無礙光如来)がございます。※大きさや表装の違いにより異加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部(免物係)までお問い合わせください。

## いちよう・きく

いろいろな生活環境においても、心のよりどころとしてのご本尊を安置していただける小型の「いちよう」と「きく」があります。それぞれにご絵像と六字名号があります。



いちよう  
(縦24cm×横19cm×奥行9cm)  
異加金 30,000円



きく  
(縦17.2cm×横10.3cm×奥行2.9cm)  
異加金 20,000円

## 携行本尊(絵像)

携行本尊とは、「独りじゃないよ、いつも一緒だよ」と、よびかけてくださる阿弥陀さまをいつでもどんな時でも感じられるよう、持ち歩くことができる名刺サイズの御本尊です。西本願寺(龍虎殿)で直接お迎えいただけるほか、ホームページからのお申込みも可能です。



PR動画及び  
申込みフォーム  
はこちら



(縦90mm×横55mm×厚み2mm  
漆ブラック調ハイオプラスチック)  
異加金 10,000円

参拝教化部(免物係)

# 領解文

もろもろの雑行雑修自力のころをふりす  
てて、一心に阿弥陀如来我等が今度の一大事の  
後生御たすけ候へどたのみ申して候。たのむ  
一念のとき往生一定御たすけ治定とぞんじ、  
この上の称名は、御恩報謝とぞんじよろこび  
申し候。この御ことわり聴聞申しわけ候事、  
御開山聖人御出世の御恩、次第相承の善知識  
のあさからざる御勸化の御恩と、ありがたく  
ぞんじ候。

この上はさだめおかせらるる御おきて一期  
をかぎり、まもり申すべく候。

# 報恩講の歌

作詞…日曜学校同人 黒瀬知圓  
作曲…野村成仁

和歌の浦曲の 片男波の  
寄かけよせかけ 帰る如く  
我世に繁く 通い来り  
み仏の慈悲 つたえなまし

一人居てしも 喜びなば  
二人と思え 二人にして  
喜ぶおりは 三人なるぞ  
その一人こそ 親鸞なれ

# 私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく  
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき  
日々精一杯つとめます  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

## お西さん（西本願寺）SNS紹介

### お西さん(西本願寺)公式ホームページ

<https://www.hongwanji.kyoto>

本願寺のさまざまな情報を随時  
発信しています。  
ご参拝にお役立てください。



### お西さん(西本願寺)公式X(旧Twitter)

@nishi\_hongwanji

法要行事のご案内など本願寺の  
「今」をお伝えしています。  
フォローをお願いします。



### お西さん(西本願寺)公式Instagram

nishi\_hongwanji

本願寺境内の四季折々の風景  
などをお届けします。  
フォローをお願いします。



### お西さん(西本願寺)公式note

[https://note.com/nishi\\_hongwanji](https://note.com/nishi_hongwanji)

仏教や宗教に関するコラムや  
お西のお坊さんなどへの  
インタビューまで、本願寺に  
まつわる情報をお届けします。



# 御正忌報恩講法要期間中の**仏華**



1月9日～12日午前

松(巻真)

へにあかめやなぎ  
紅赤芽柳

五葉松

菊

南天

小菊

菊

(御影堂)



御影堂内陣



1月12日午後～16日

梅(梅真)

笹

椿

水仙  
(約1500本使用)

(御影堂)

お西さんへ行こう。  
2023年  
春号・夏号・秋号



境内各所で配布しております。  
ご自由にお持ち帰りください。

## 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 「ハワイ・マウイ島大規模火災 災害義援金」 募集について

2023年8月8日に発生したハワイ・マウイ島大規模火災により、ハワイ開教区ラ  
ハイナ本願寺の各所が全焼するなど甚大な被害※が発生しました。  
宗派では、継続した被災地の復興支援を目的として、下記の通り義援金を募集して  
おりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

**1. 募金の名称** 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金  
「ハワイ・マウイ島大規模火災 災害義援金」

**2. 受付口座番号** 郵便振替 01000-4-69957  
加入者名 たすけあい募金

銀行振込  
銀行 ゆうちょ銀行  
店名 一〇九(イチゼロキュウ)店  
番号 当座 0069957  
名義 たすけあい募金

※いずれも通信欄に「マウイ島災害義援金」と明記して  
ください。

※住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。  
お預かりした募金は災害義援金として、被災地支援に  
充てさせていただきます。

**3. 受付期間** 2023(令和5)年8月23日から当分の間

**4. 問い合わせ先** 浄土真宗本願寺派伝道本部 ☎ 社会部<災害対策担当>  
TEL 075-371-5181 FAX 075-365-6199

龍虎殿・  
安穩殿・お茶所・  
聞法会館ロビー等に  
募金箱を設置  
しております。

※被害状況等は、浄土真宗本願寺派国際センター  
(寺院活動支援部<国際伝道担当>)のホームペー  
ジに掲載しておりますので、ご清覧ください。



★ハワイ開教区の商品も並ぶ被災地支援物産展(P.32)へもお立ち寄りください。